

安心の暮らしの中心火の用心



遅くなるにつれ火を使う機会も増えますが、ちょっとした不始末が大きな火災を引き起こします。外出時や就寝前には、必ず火の元を確認しましょう。

第376号

平成6年11月



広報 やわた

発行 八幡市役所
(11月10日発行)
京都府八幡市八幡園内75
電話 (075) 983-1111
編集 企画調整部秘書広報課

人口 7万6346人
(前月より107人増)
1994年 平成6年10月1日
男: 3万7961人 女: 3万8385人
世帯 2万5659世帯
動き・出生 83人・死亡 28人
(9月分) 転入 323人・転出 271人



漂うみやびの世界

花堂昭乗をしのぶ「秋の大茶会」が11月9日、松花堂庭園で催され、柔らかな秋の日差しの下、市民ら約300人がお茶を楽しみました。

室「松隠」で梅隠での薄茶席のほか、資料館2階では立札(りゅうわい)によるお点前が披露され、また、会場には琴と尺八の音色が漂い、庭園の静寂さとあいまって、優雅な世界をかもしだしていました。

栗は、男山にあった48坊の一つ萬本坊の住職で、書や茶道、絵画、詩歌などに優れ、特に書では近衛信重、本阿弥光悦とともに「寛永の三筆」と称せられた文人僧。晩年に過ごした草庵・松花堂(現在、松花堂庭園内に移設)には沢庵和尚や小堀遠州など、当時の文化人らがつどい、毎日のように茶会が開かれていたと伝えられています。

の大茶会は、これらの故事にちなみ、昭和35回忌を記念して昭和63年からはじめられたものです。また、11月中は、毎週日曜日の午前10時から午後3時まで、茶室「竹隠」で「日曜茶席」が催されています。お気軽にお越しください。

ZOOM IN

流れ橋、流れる

台風26号で高板流出

栗は、男山にあった48坊の一つ萬本坊の住職で、書や茶道、絵画、詩歌などに優れ、特に書では近衛信重、本阿弥光悦とともに「寛永の三筆」と称せられた文人僧。晩年に過ごした草庵・松花堂(現在、松花堂庭園内に移設)には沢庵和尚や小堀遠州など、当時の文化人らがつどい、毎日のように茶会が開かれていたと伝えられています。

の大茶会は、これらの故事にちなみ、昭和35回忌を記念して昭和63年からはじめられたものです。また、11月中は、毎週日曜日の午前10時から午後3時まで、茶室「竹隠」で「日曜茶席」が催されています。お気軽にお越しください。

金曜日に夜間窓口を開設

《取扱い事務》印鑑登録、印鑑証明交付、住民票等交付(転入転出届け、戸籍の謄抄本の交付)

入場無料

11月9日~20日
午前9時~午後5時

四天王寺創建のために作られた「素弁八葉蓮華紋軒瓦」。男山西側の「平野山瓦窯跡」から出土。

文化財展

文化財講座

展示解説

日時 11月12日午後2時~、19午後4時~
場所 民衆会場
講師 山城町教委・中島正氏
テーマ 南山城の古代寺院

社会教育課
問い合わせ窓口

中村祐子ピアノリサイタル

◆ベートーヴェン/ピアノソナタ第23番ヘ短調OP57「熱情」
◆ショーマン/幻想小曲集OP12他

《入場料》S席 4000円
A席 3500円
(全席指定、当日500円増)

12/22
開演 午後7時
文化センター大ホール

12月4日(日)
午後2時30分開演
文化センター大ホール

《出演》市民合唱団・市民オーケストラ
少年少女合唱団

《入場料》(全席自由) 前売800円 当日1000円

第7回
市民音楽祭

歌でつづる
世界お国めぐり

11月14日(日)
開演 午後7時
文化センター大ホール

府民芸術劇場・京都市交響楽団演奏会

◇指揮
井上道義

京響
メンデルスゾーン
「真夏の夜の夢」序曲
ブルームス
交響曲第4番ホ短調OP98 他

《入場料》(全席指定、当日500円増)
S席 2500円
A席 2000円(中高生1500円)

◆問い合わせ・電話予約
文化センター☎971-2111

